**〇〇市町村長　　　　　　　　様**

**〇〇市町村教育委員会教育長　 　　　様**

**有害物質が埋まる万博へ子どもたちを行かせないでください！**

**署名開始日：２０２4年〇月　〇日**

　吉村大阪府知事は2023年8月30日、府内在住の4～18歳を無料で万博に招待すると発表しました。2回目以降を市町村で検討してほしいと述べました。

**（府招待に加えて、2回めを計画しているなど各市町村の状況があれば記載する）**

しかし、2024年1月1日に能登半島地震が起こり、資材や労働力不足のなか、「万博を中止し災害復興に注力すべき」との声が高まっています。また、液状化などの被害状況が明らかになるにつれ、万博開催地の夢洲は災害が起きやすい場所であり、災害対策が不十分なことが、よりはっきりしてきました。

　以下に述べるように、万博開催地の夢洲は集客施設をつくってはいけない場所であり、子どもたちを行かせることに強く反対します。

**＜有害物質が埋まる夢洲＞**

夢洲はごみの最終処分場として作られた人工島です。有害物質を含む川底の泥や建設残土、産業廃棄物などが埋まっています。

子どもたちがバスで来場する**駐車場は、有害物質PCBの袋1万袋**の上を土で覆い、コンクリートで固めてつくる計画です。そこに子どもたちは降り立つことになります。子どもたちの健康被害が心配です。駐車場以外も土壌調査がされていないので、どこにどんな有害物資が埋まっているのかもわかりません。そんな場所で子どもたちは行動することになるのです。

**＜災害対策が不十分＞**

万博の開催期間は、梅雨や台風による自然災害の多い時期です。夢洲は大阪湾上に位置し、災害を受けやすい地理的条件です。南海トラフ地震の発生予測は10年以内30％、30年以内70～80%とされています。大きな地震が来れば、津波や液状化などによる甚大な被害が予想されます。

自然災害が起きたときの避難はうまくいくのでしょうか。夢洲には避難路が2ルート（橋とトンネル）しかありません。一日あたり約15万人の入場者予測ですが、とても2ルートだけでの避難は不可能ですし、今まで橋は強風で、トンネルは冠水で通行不能になっています。橋やトンネルが使えないと**生活物資が途絶える文字通りの孤島**になってしまいます。

**◆子どもたちの命と健康を守るために以下を要請します。**

**１．有害物質による健康被害の危険性がある夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。**

**２．自然災害の危険性が高い夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。**

**３．自然災害が起きたときに避難が不可能な夢洲・万博に子どもたちを行かせないでください。**

|  |  |
| --- | --- |
| **名　前** | **住　所** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

**＜署名の送り先＞**

**〒○○○―○○○〇　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　名前**

**連絡先　メール（　　　　　　　　　　　　　）　　　　電話（　　　　　　　　　　　　　　）**

**取り扱い団体【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】**

****

**◆大阪府宛WEB署名はこちらから　　　　　https://chng.it/ypB7qwgKhy**